



# 国内・海外・金融経済データ

## 1. 国内経済指標

### 【ご注意】

本資料は情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。投資判断の決定につきましては、お客様ご自身の判断でなされますようお願いいたします。

また、文中の情報は信頼できるとされる各種データに基づいて作成しておりますが、商工中金はその完全性・正確性を保証するものではありません。

※2021年3月1日時点のデータをもとに作成

## 個人消費は、持ち直しの動きに足踏みがみられる

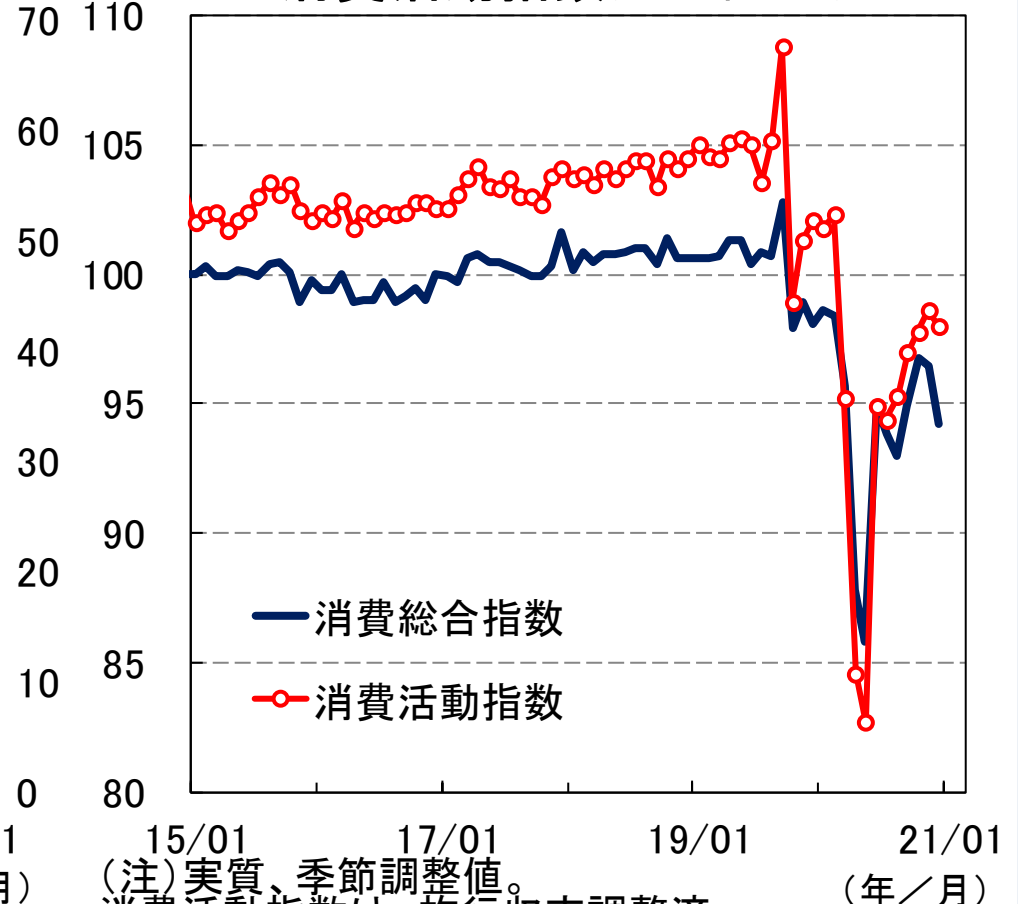
### 商業販売額指数、乗用車販売台数

(2015年=100) (万台)



(注) 商業販売額指数は名目、季節調整値。  
(資料) 経済産業省「商業動態統計」、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会

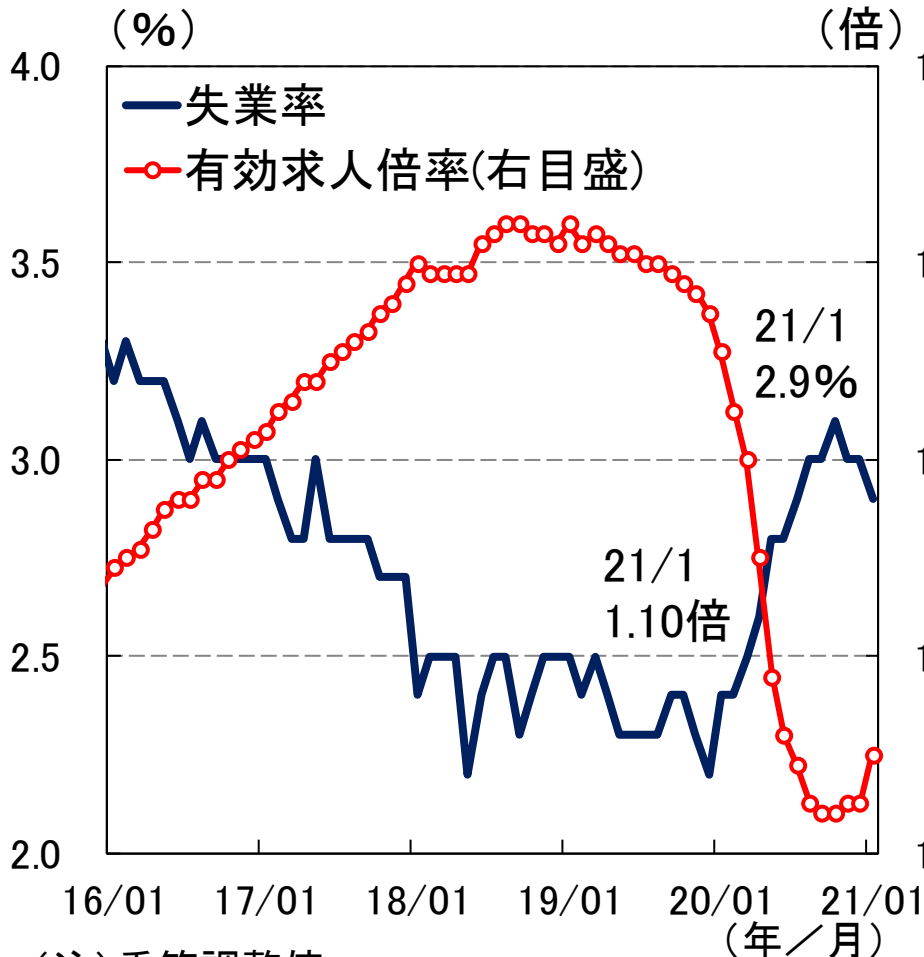
### 消費総合指数(2015年=100)、消費活動指数(2011年=100)



(注) 実質、季節調整値。  
消費活動指数は、旅行収支調整済。  
(資料) 内閣府「消費総合指数」、日本銀行「消費活動指数」

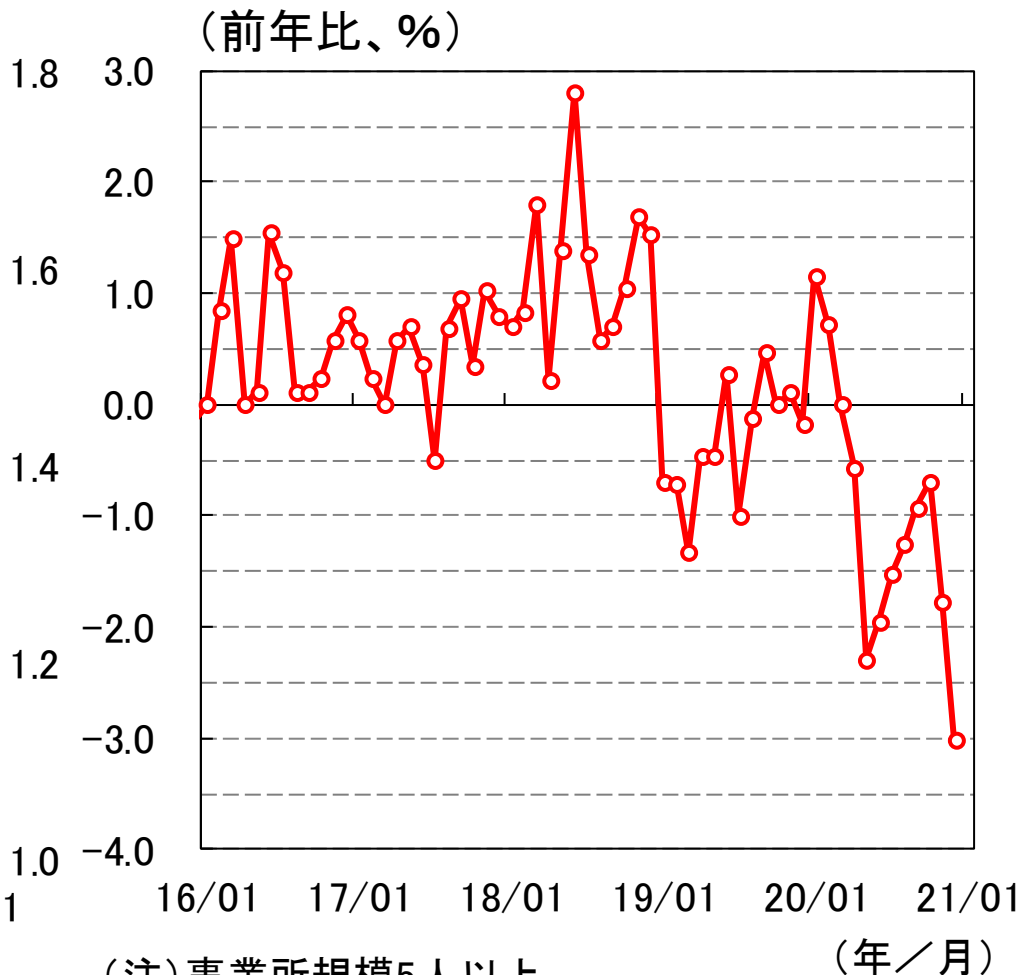
雇用環境は悪化傾向に歯止めがかかりつつある  
賃金は足元弱含んでいる

### 完全失業率と有効求人倍率



(注) 季節調整値。  
(資料) 総務省「労働力調査」、厚生労働省「一般職業紹介状況」

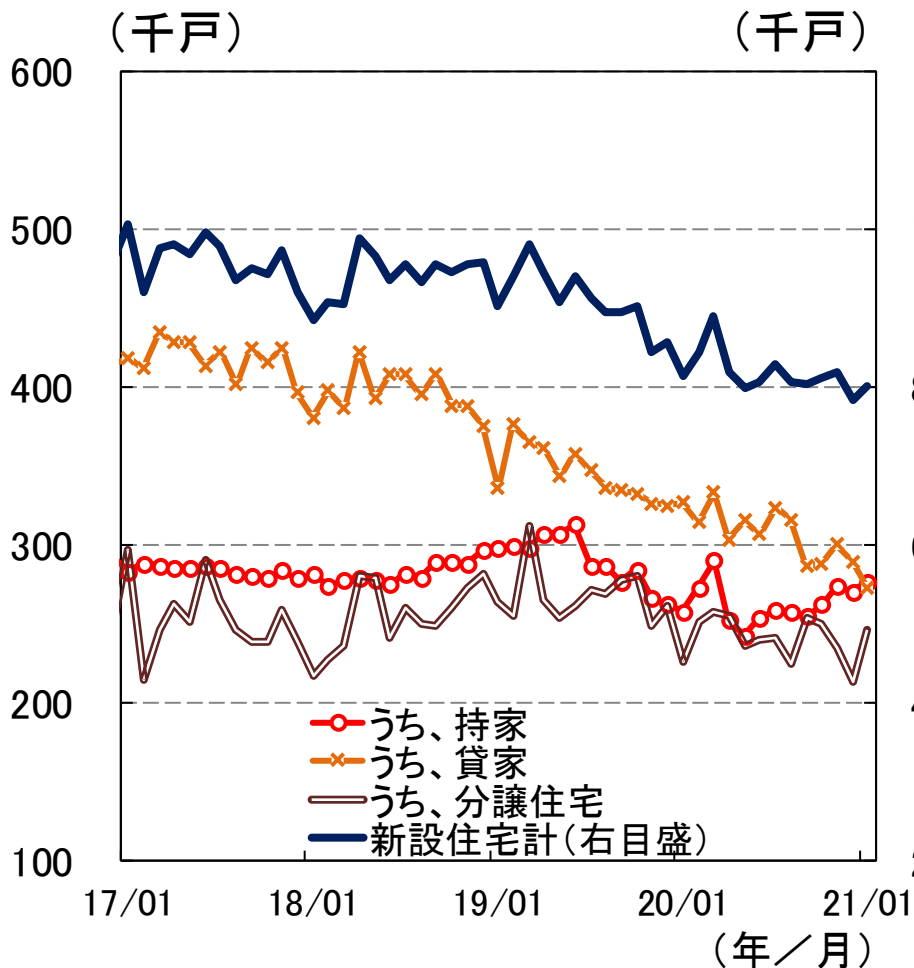
### 現金給与総額(賃金指数、2015年=100)



(注) 事業所規模5人以上。  
(資料) 厚生労働省「毎月勤労統計」

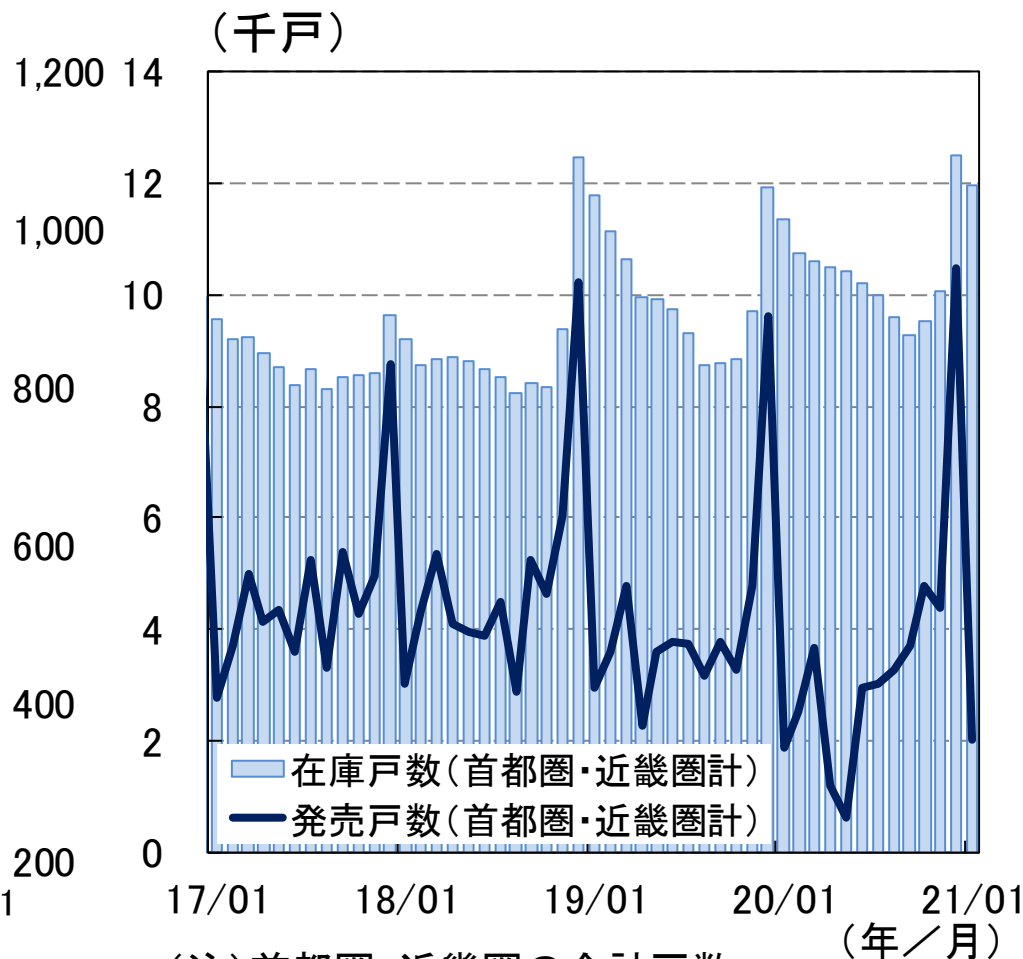
住宅投資はおおむね横ばいとなっている

新設住宅着工戸数



(注) 季節調整値の年率換算。  
(資料) 国土交通省「建築着工統計」

マンション発売戸数と在庫戸数



(注) 首都圏・近畿圏の合計戸数。  
(資料) 不動産経済研究所「首都圏、近畿圏のマンション市場動向」

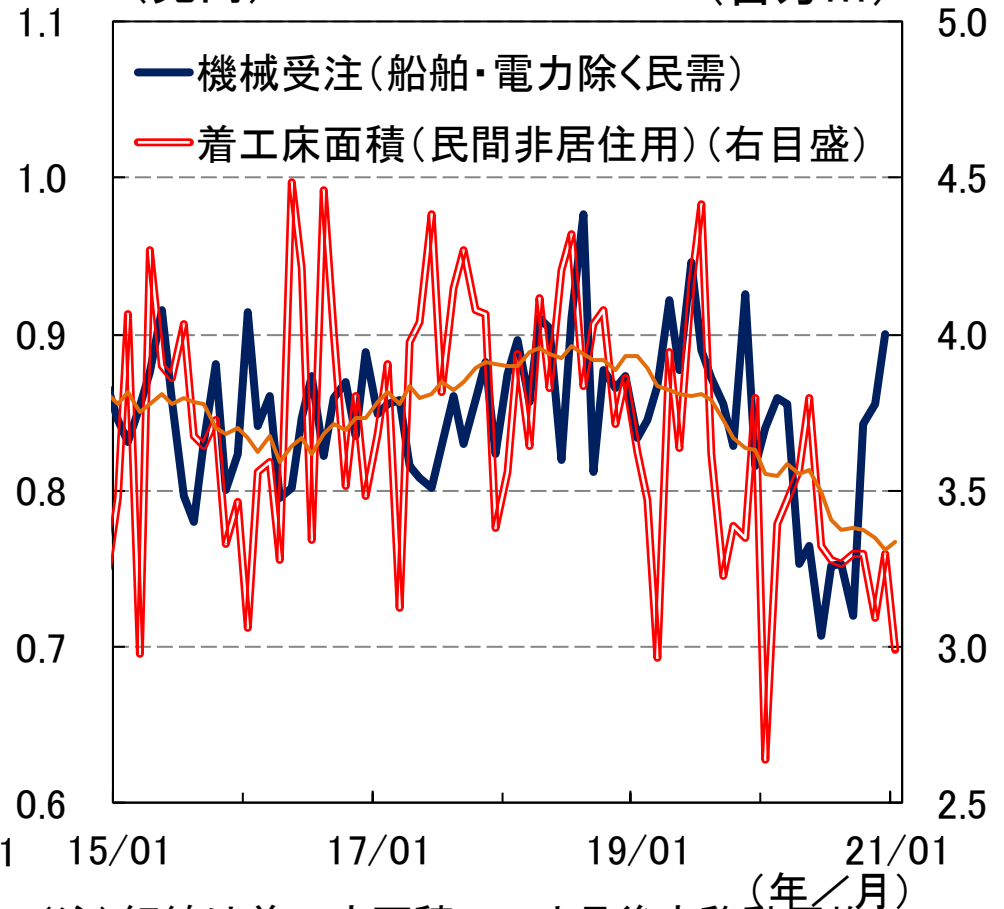
## 設備投資は持ち直しつつある

資本財出荷指数(輸送機械工業を除く)  
(2015年=100)



(注) 季節調整値。  
(資料) 経済産業省「鉱工業指数統計」

機械受注額と建築物着工床面積  
(兆円) (百万㎡)



(注) 細線は着工床面積の12カ月後方移動平均。  
(資料) 内閣府「機械受注統計」、国土交通省「建築着工統計」

生産は持ち直している

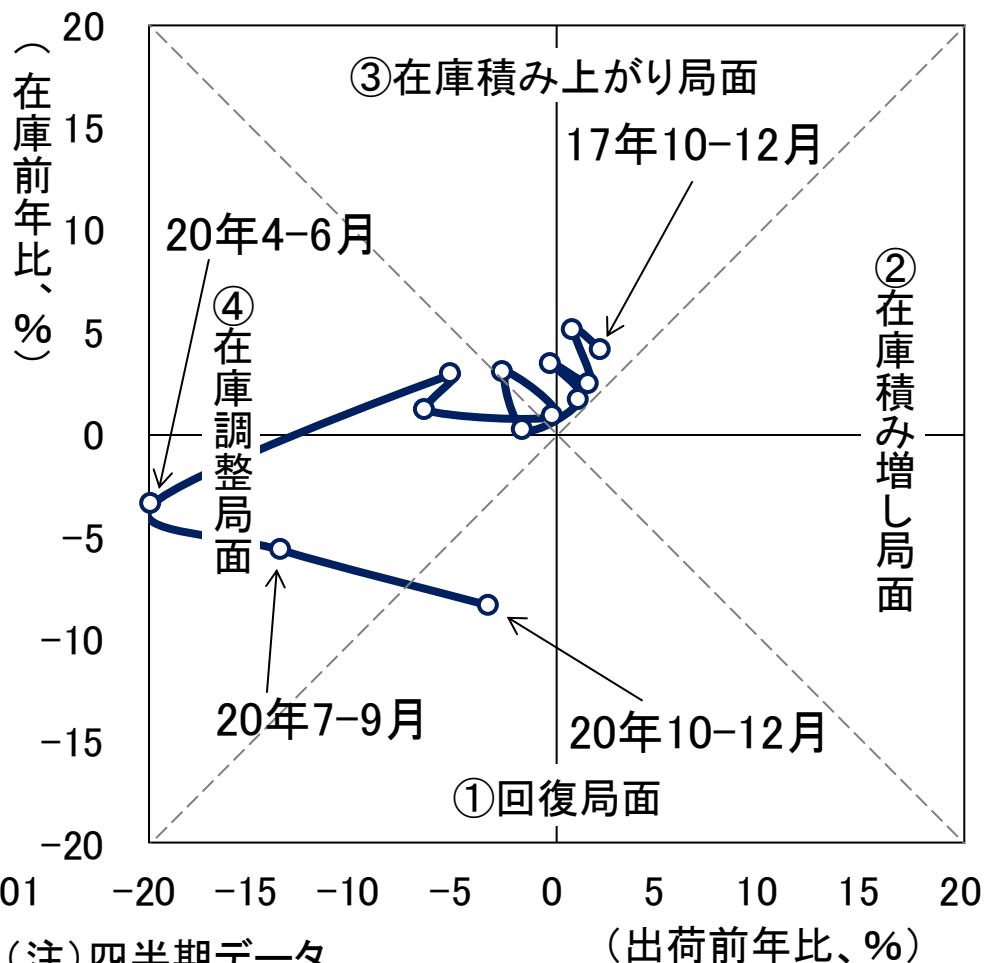
生産・出荷指数

(2015年=100)



(注) 季節調整値。  
(資料) 経済産業省「鉱工業指数」

在庫循環図(鉱工業全体)

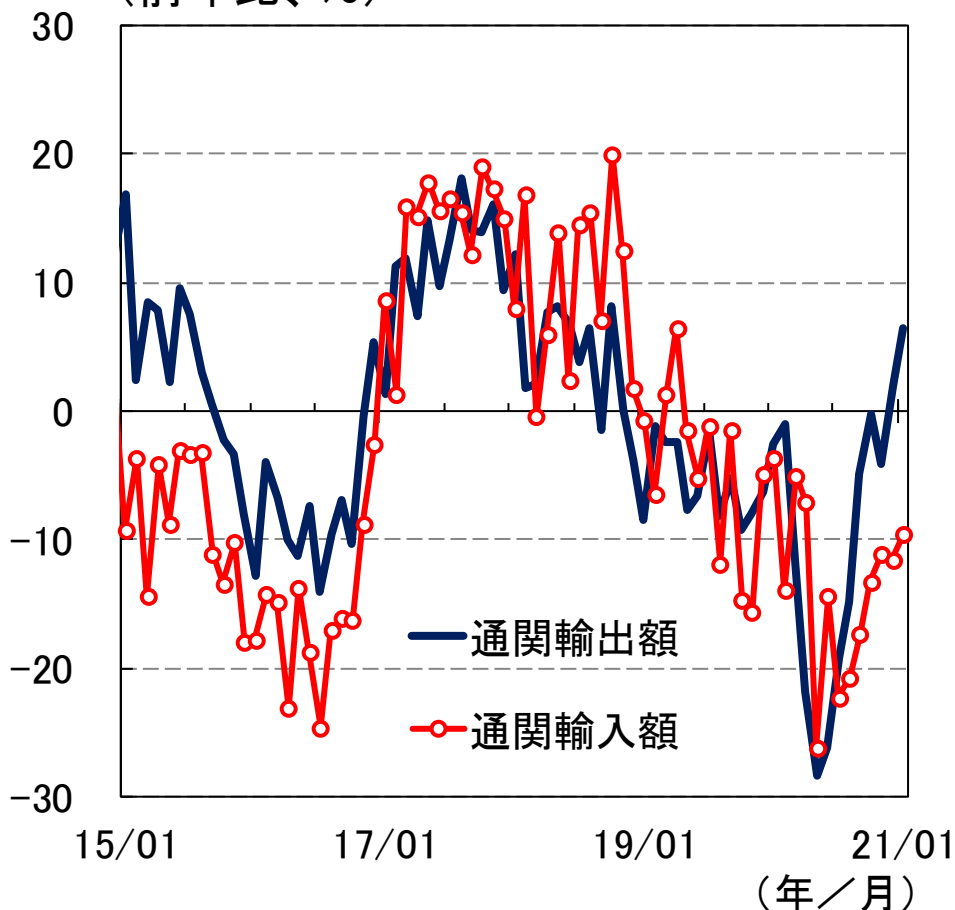


(注) 四半期データ。  
(資料) 同左

輸出は中国向けを中心に増加している

輸出入額(名目)

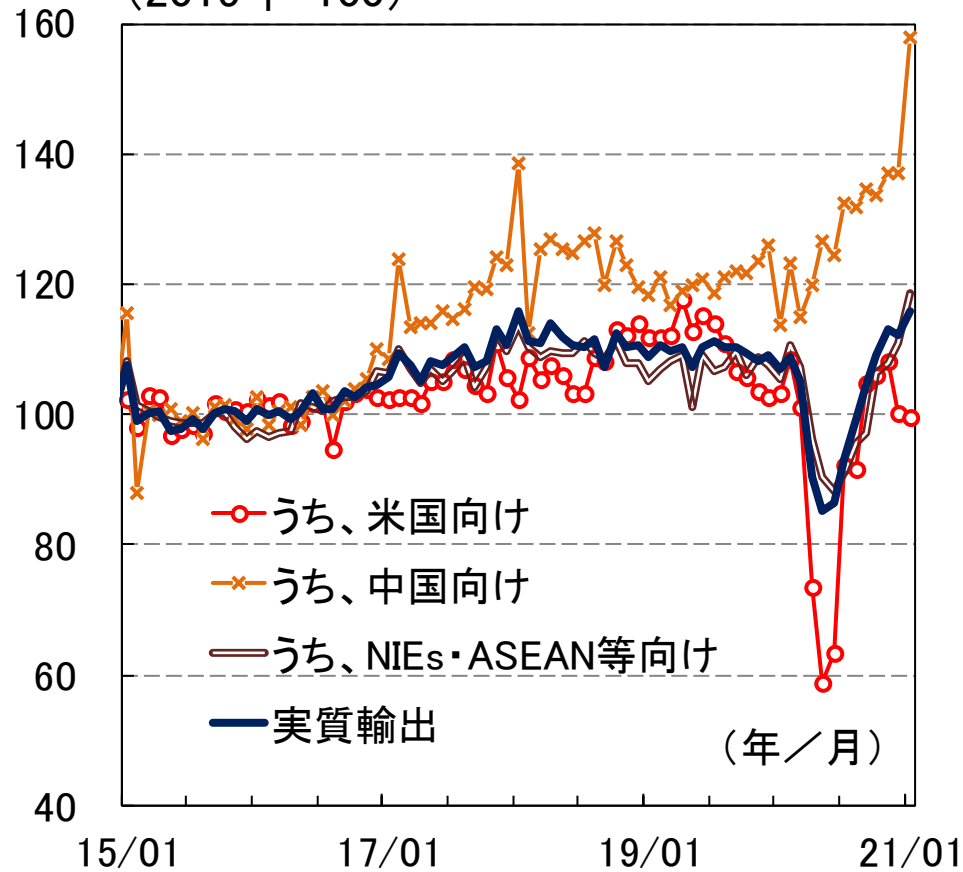
(前年比、%)



(資料)財務省「貿易統計」

実質輸出

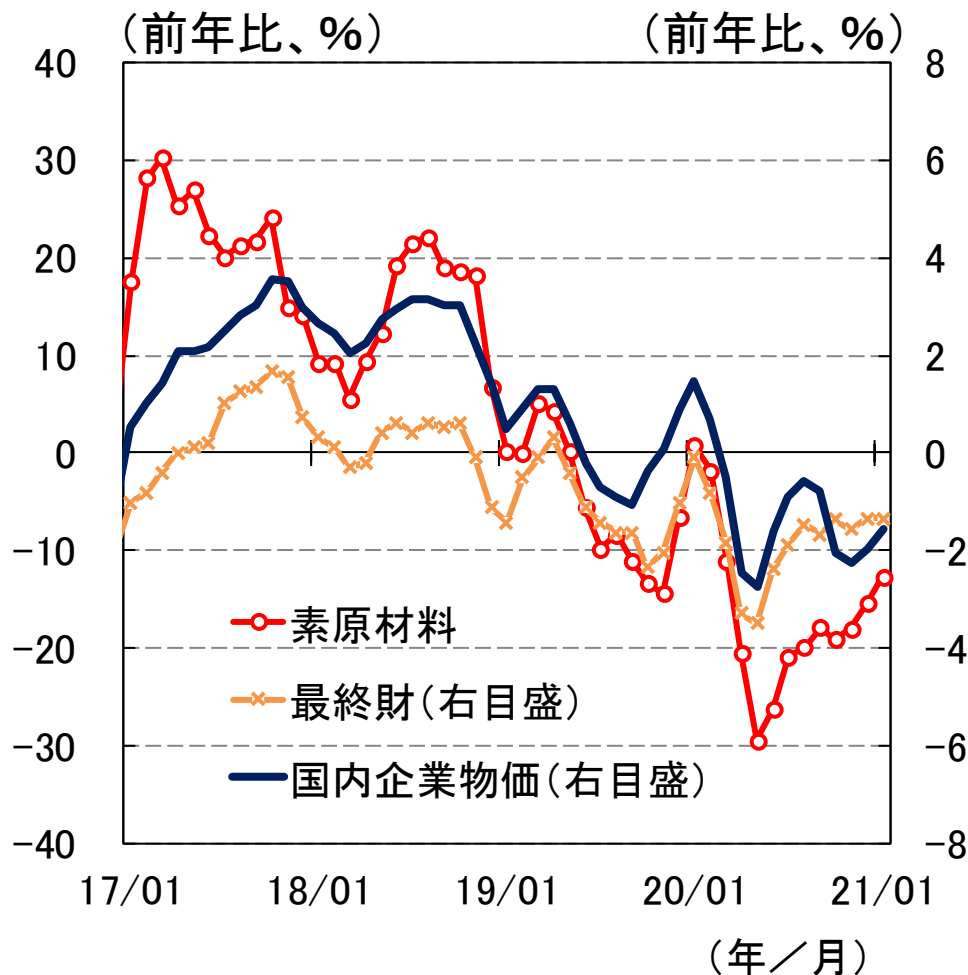
(2015年=100)



(注)実質、季節調整値。NIEs・ASEAN等向けは、インド・バングラデシュなどを含む。  
(資料)日本銀行「実質輸出入の動向」

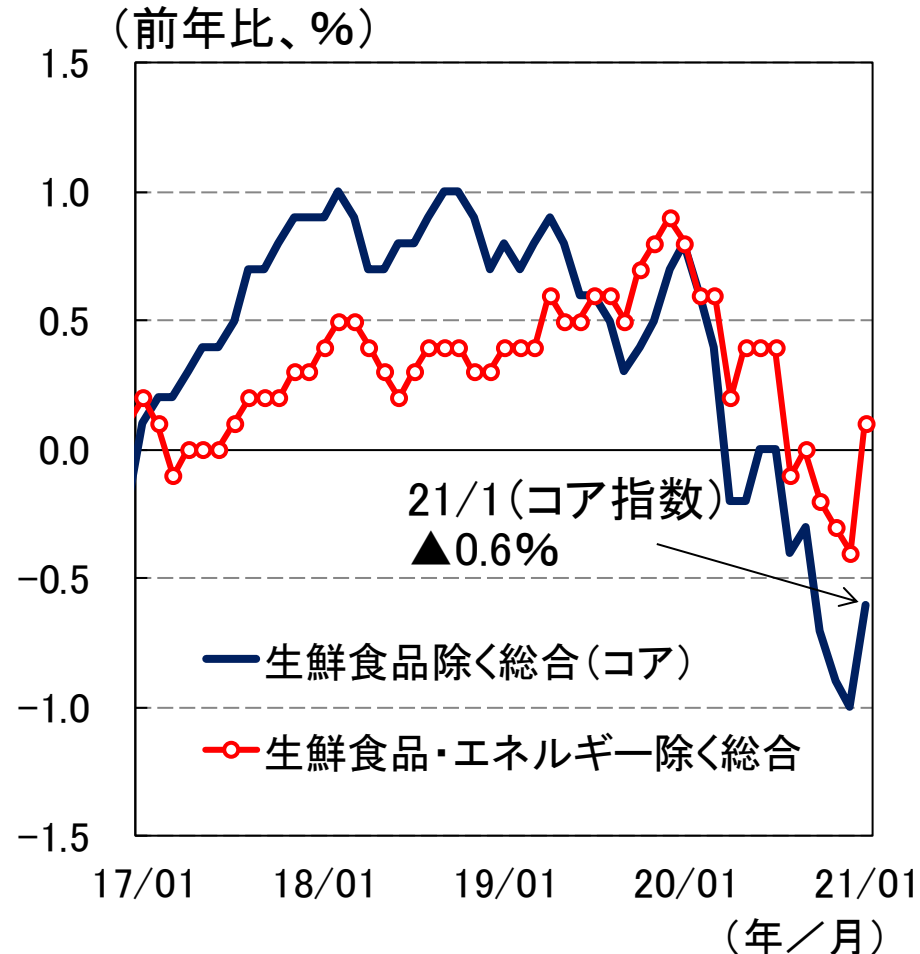
企業物価は持ち直しの兆しがみられる。消費者物価はGoTo  
 トラベル影響がはく落し、下げ止まりの兆し。

## 企業物価指数



(注) 素原材料、最終財は輸入品を含む。  
 (資料) 日本銀行「企業物価指数」

## 消費者物価指数



(資料) 総務省「消費者物価指数」





# 国内・海外・金融経済データ

## 2. 海外経済・金融関連データ

### 【ご注意】

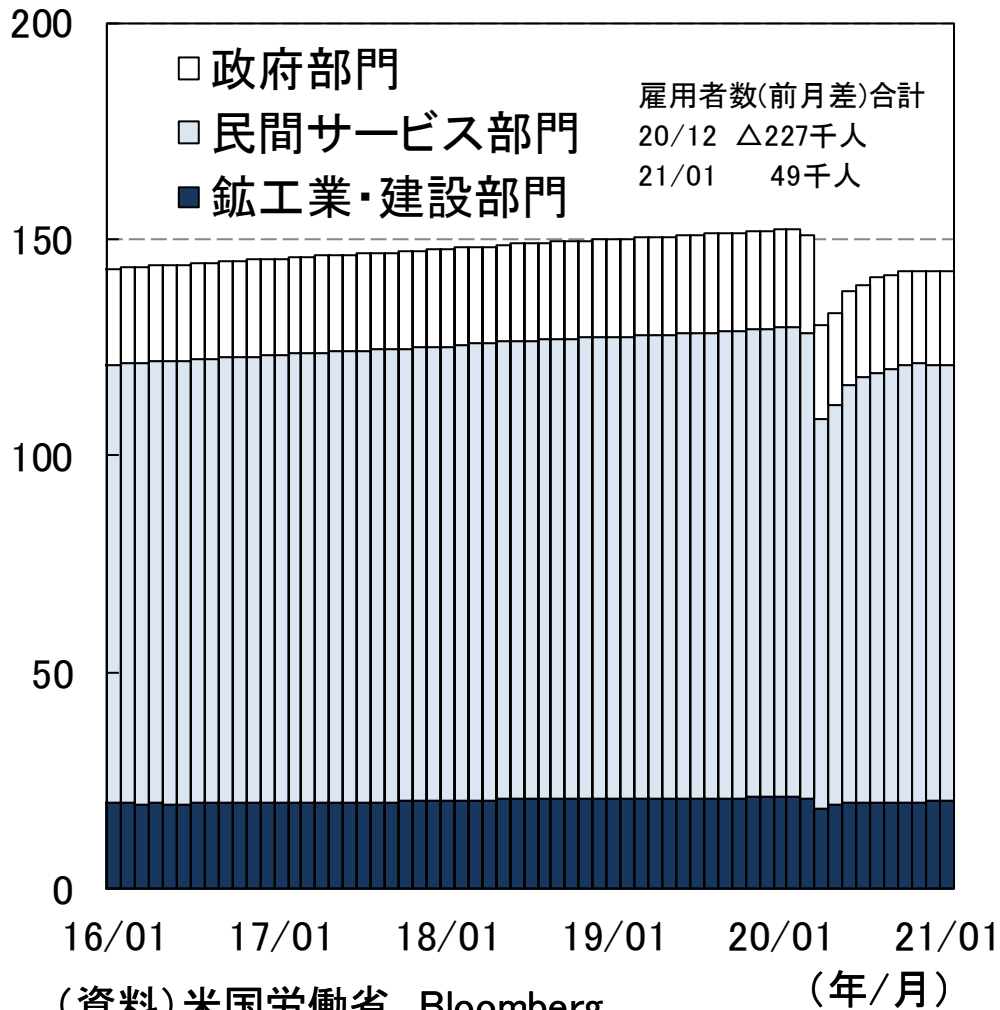
本資料は情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。投資判断の決定につきましては、お客様ご自身の判断でなされますようお願いいたします。

また、文中の情報は信頼できるとされる各種データに基づいて作成しておりますが、商工中金はその完全性・正確性を保証するものではありません。

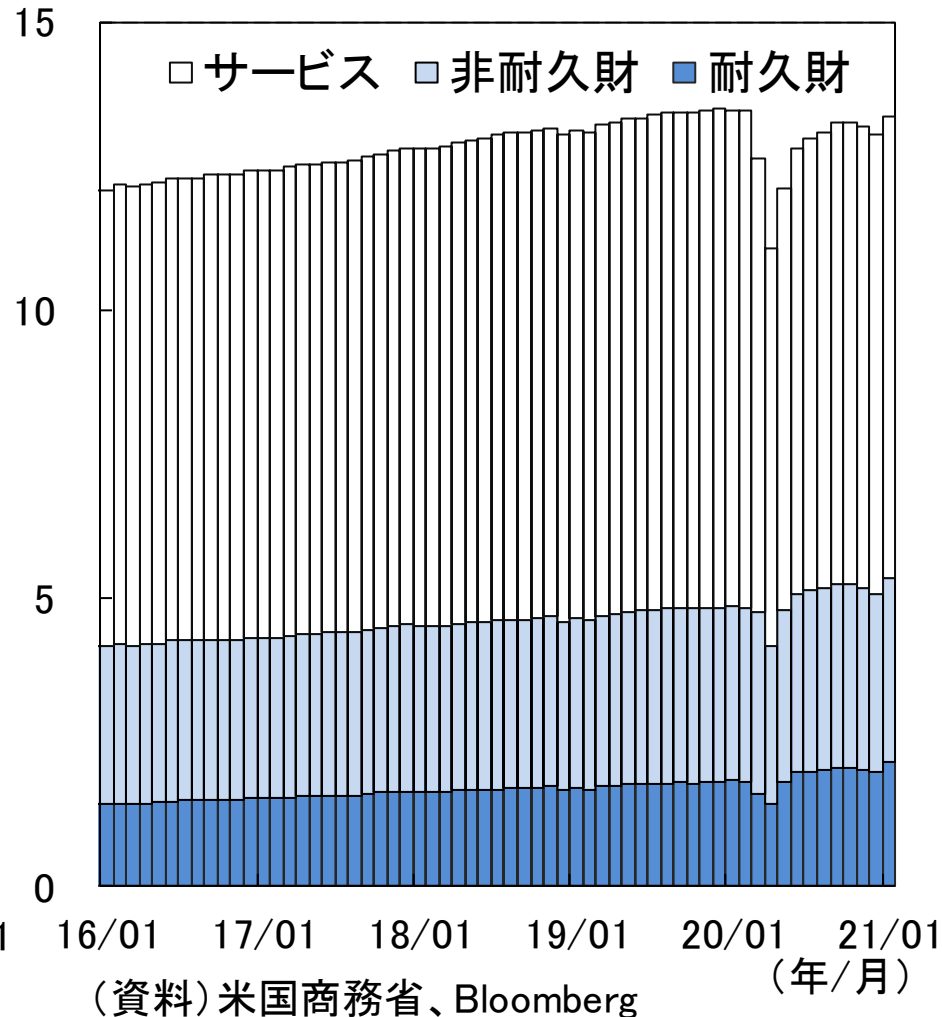
雇用者数は回復の動きに足踏みがみられる

個人消費は持ち直しの動きが緩やかになっている

(百万人) 非農業部門雇用者数



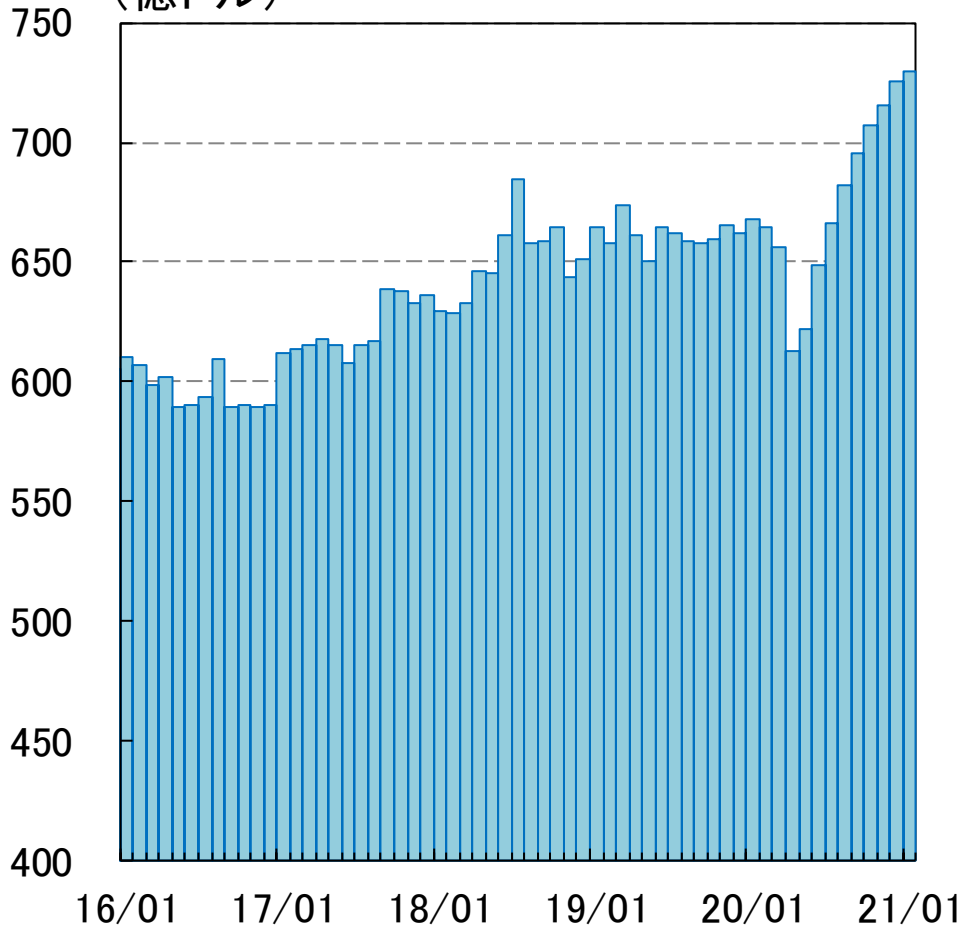
(兆ドル) 実質個人消費支出



資本財受注は増加しており、生産および景況感も回復基調

非国防資本財(除く航空機)受注

(億ドル)



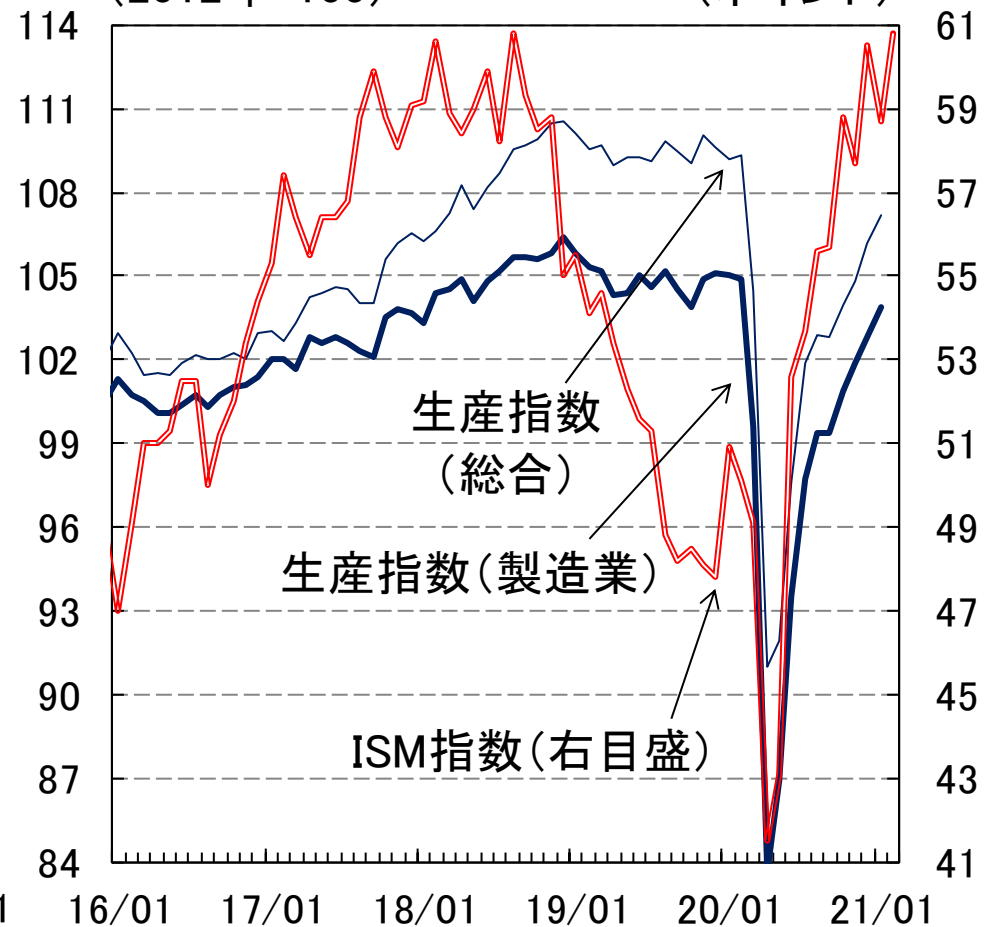
(資料)米国商務省、Bloomberg

(年/月)

生産指数とISM指数

(2012年=100)

(ポイント)



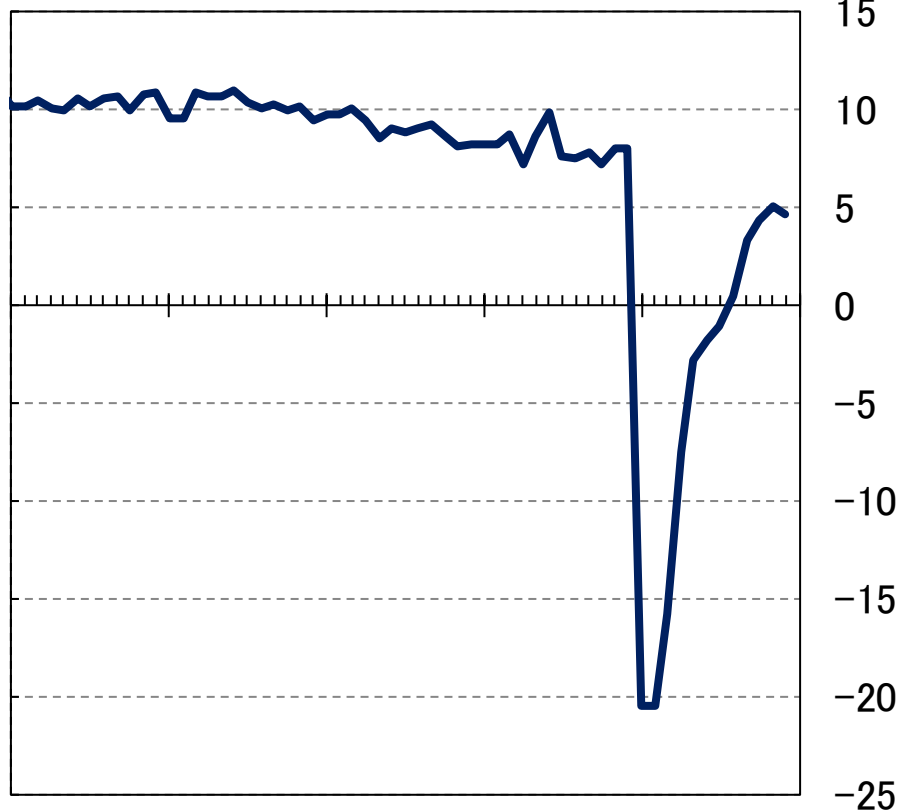
(資料)FRB、ISM、Bloomberg

(年/月)

消費は持ち直しているものの、消費者物価指数（総合）の伸び率は縮小している

消費財小売総額(名目、前年比)

(%)



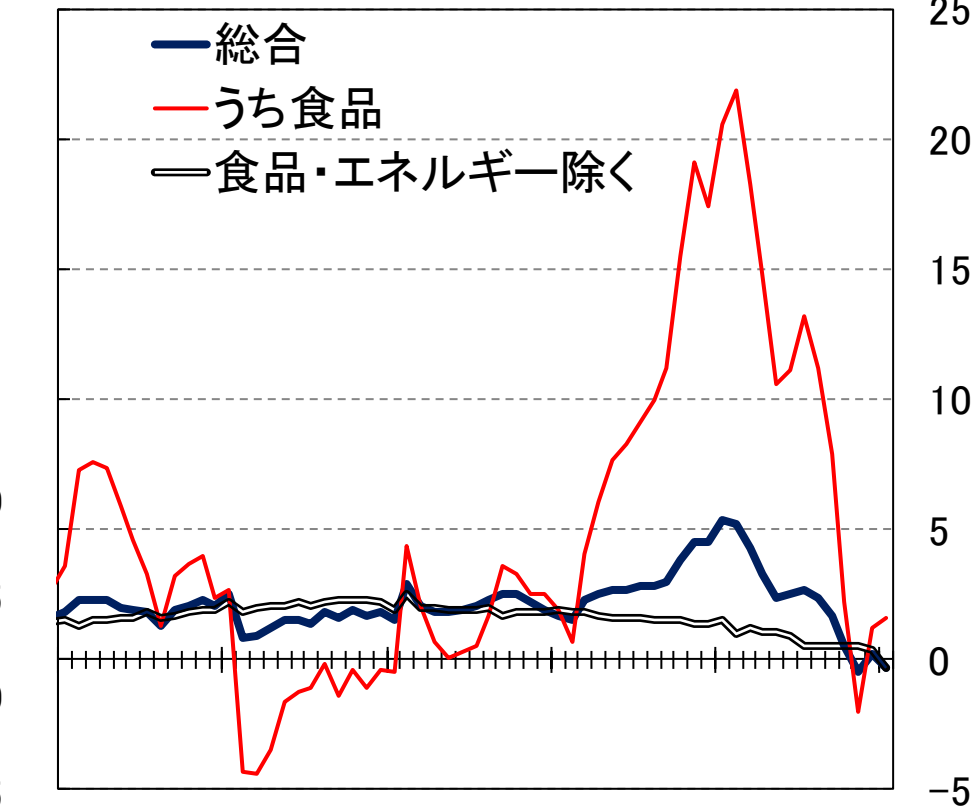
16/01 17/01 18/01 19/01 20/01 21/01  
(年/月)

(注) 1、2月は単月計数未公表につき  
1-2月累計前年比を記載。

(資料) Bloomberg、中国国家統計局

消費者物価指数(前年比)

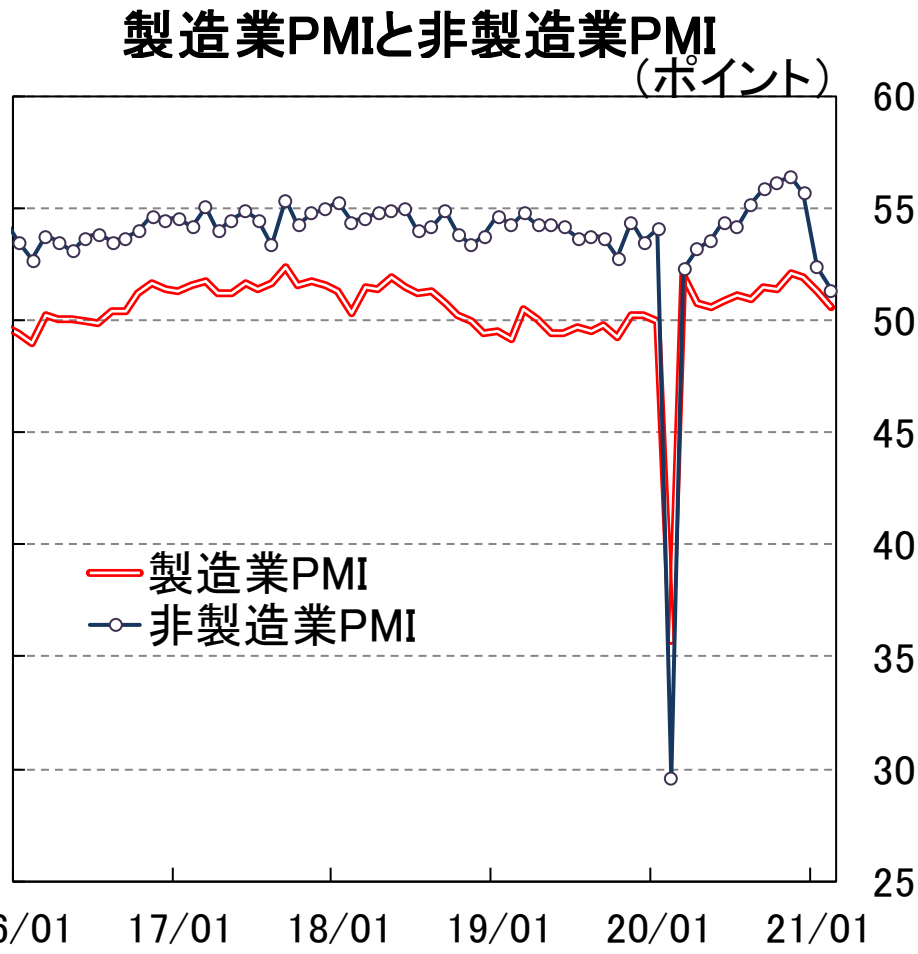
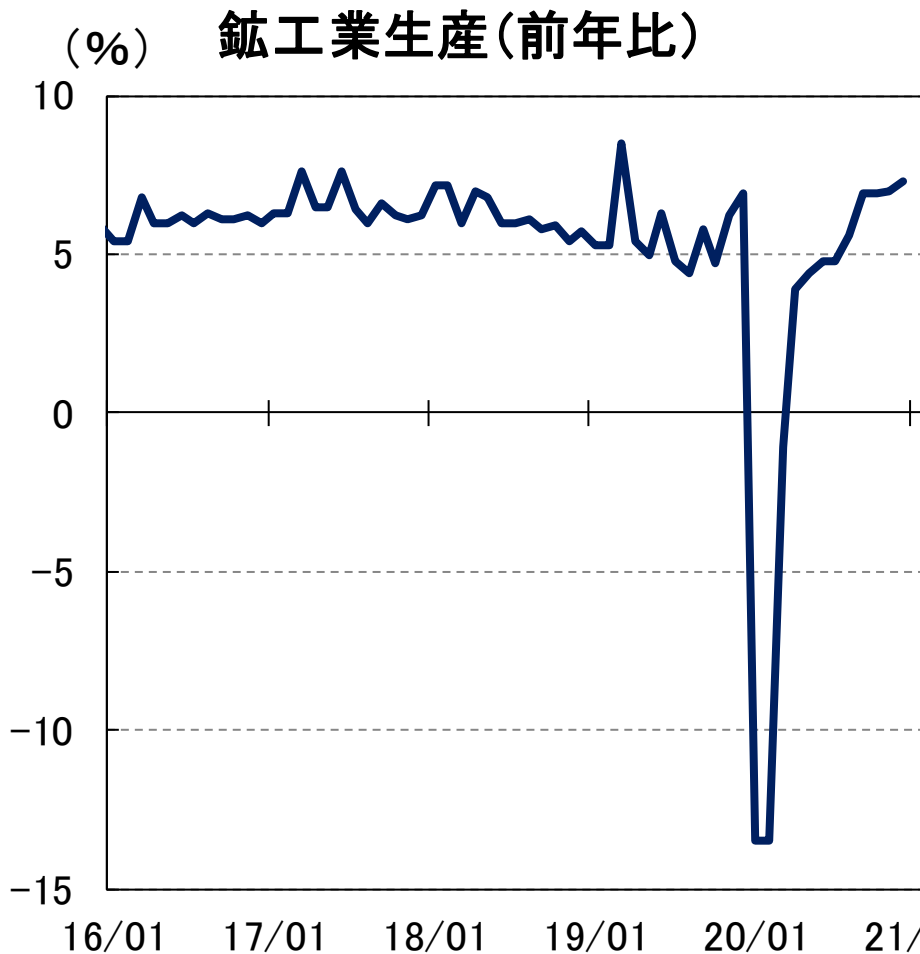
(%)



16/01 17/01 18/01 19/01 20/01 21/01  
(年/月)

(資料) Bloomberg、中国国家統計局

鋳工業生産は回復しているものの、感染症再拡大の懸念から景況感に足元弱い動きがみられる

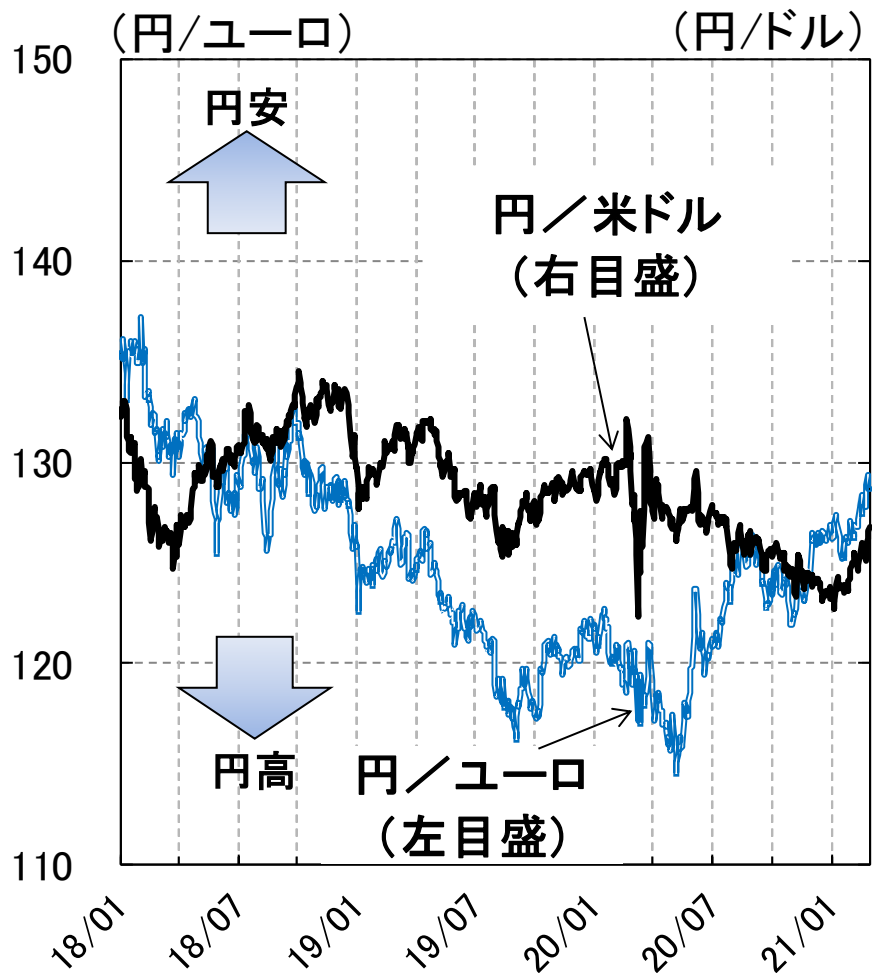


(注) 鋳工業生産の毎年1月、2月とも単月数値は (年/月) 未公表のため、1-2月累計値の前年比を記載。  
 (資料) Bloomberg、中国国家統計局

(資料) Bloomberg、中国国家統計局

ワクチン開発進展による景気回復期待、緩和的な金融政策、及び財政支出の拡大等を背景として、株価はコロナ禍以前の水準を超えて上昇。

### 為替相場の推移



(資料) Bloomberg

(日次: ~3/1)

### 日米株価の推移



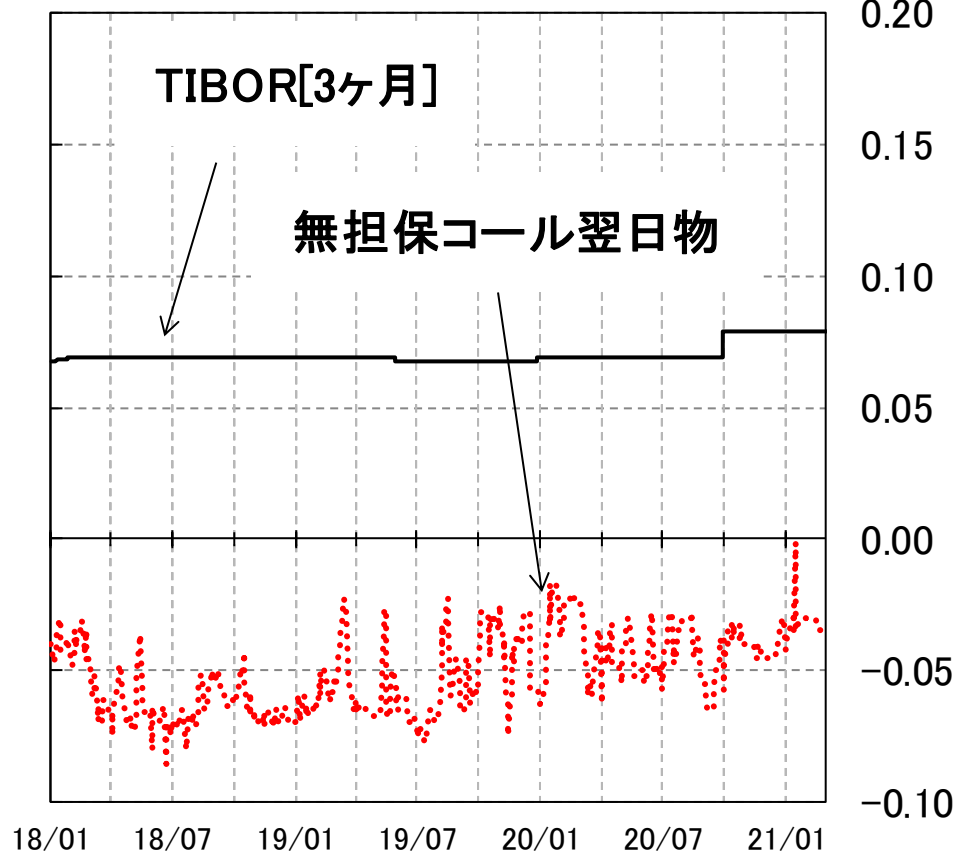
(資料) Bloomberg

(日次: ~3/1)

米国での景気回復期待や財政支出拡大に伴う金利の急上昇が波及し、国内長期金利も上昇。

### 国内短期金利の推移

(%)



(日次: ~3/1)

(資料) Bloomberg

### 国内長期金利の推移

(%)



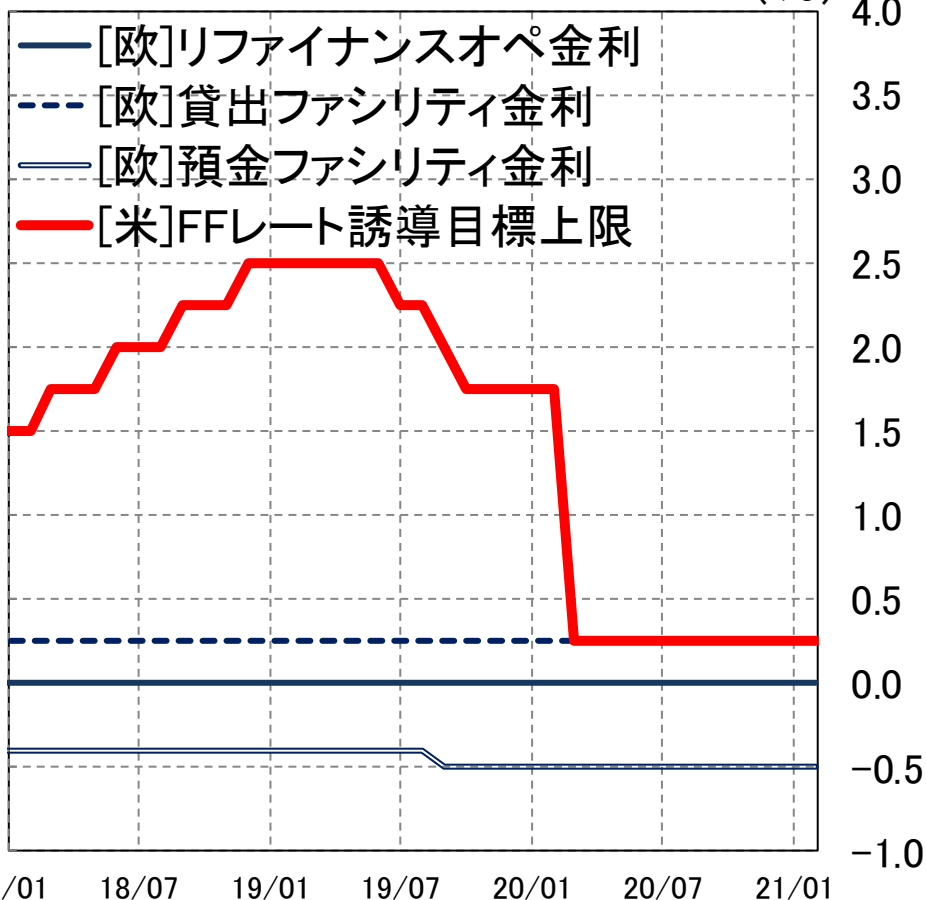
(資料) Bloomberg

(日次: ~3/1)

原油価格は、エネルギー需要回復の期待から上昇傾向。

欧米政策金利の推移

(%)

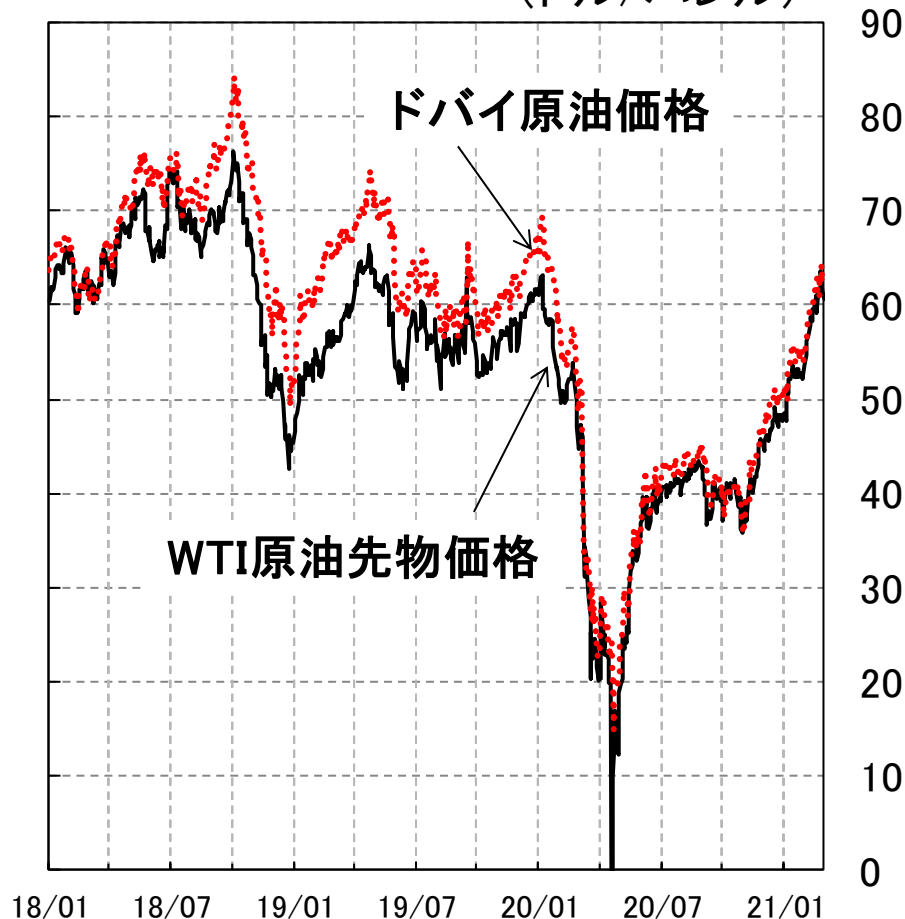


(資料) Bloomberg

(月次: ~21年2月)

原油価格の推移

(ドル/バレル)



(資料) Bloomberg

(日次: ~3/1)